わたしの議会。

No.167
5
2019

４月４日　大型クルーズ客船
「ダイヤモンド・プリンセス」鳥羽港に寄港

とば市議会だより 目次

議案質疑…… 2
常任委員会報告…… 3～4
議員別表決結果…… 5～6
一般質問…… 6～10
教えて！広報広聴委員長… 11
きらり輝く人達、他…… 12

議会報告

平成31年度一般会計・各特別会計及び水道事業会計予算ほか、鳥羽市民文化会館の設置並びに管理に関する条例の一部改正についてなど、執行部提案議案35件、請願１件、発議１件を審議しました。

・議案質疑・

戸上　健

振興費減で一陽来復予算と言えますか

市長

地域振興に資する予算です

問 各目別の振興費が新年度予算で増額になったのは、農業・林業・水産の３振興費だけです。一陽来復予算と言えますか。

答 市長　各費目の振興費合計が減となっている要因としては、当初予算編成方針財政フレームの歳入予算一般財源ベースが非常に厳しかったことから、補助金の一律削減や、政策経費のうち一部の経費について６割削減を指示したこともあり、それらの結果が各事業の一部に反映されたものや、その他事業の見直しや終了によるものです。経費の効率化と施策実現のための内容精査によるものですので地域振興に資する予算であると思っています。

平成31年度 当初予算審査の概要

平成31年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計で総額203億8,469万5,000円となり、前年度と比べ7億3,216万5,000円（3.7%）の増となっています。

一般会計では、前年度より4億8,700万円（4.5%）増の113億8,700万円となっています。特別会計では、前年度より1億4,139万円（2.1%）増の総額69億5,939万円となり、企業会計では、前年度より1億377万5,000円（5.4%）増の20億3,830万5,000円となっています。

全会計当初予算の規模

（単位：千円・%）

		平成31年度	平成30年度	前年度比較	
				増減額	伸率
一般会計		11,387,000	10,900,000	487,000	4.5
特別会計	国民健康保険事業	2,949,000	2,859,500	89,500	3.1
	介護保険事業	2,721,900	2,681,800	40,100	1.5
	定期航路事業	634,300	609,800	24,500	4.0
	特定環境保全公共下水道事業	145,600	148,800	△ 3,200	△ 2.2
	後期高齢者医療	508,590	518,100	△ 9,510	△ 1.8
	小計	6,959,390	6,818,000	141,390	2.1
企業会計	水道事業	2,038,305	1,934,530	103,775	5.4
合計		20,384,695	19,652,530	732,165	3.7

常任委員会報告

● 各常任委員会に 32 議案と 1 請願が付託されました。

総務民生委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第32号　鳥羽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について（人事院規則の一部改正により、超過勤務命令を行うことができる上限が設けられたことを受け、超過勤務命令の上限時間等について規則で定める旨の規定を追加する。））

問 市職員で、これまで上限を超えて時間外勤務をしていた例は、どの程度あるのか。

答 年間３６０時間を超えた職員は、平成29年度の実績で４名、平成28年度の実績で10名、平成27年度の実績では４名である。

（議案第41号　鳥羽市火災予防条例の一部改正について（防火管理業務の適正化並びに消防用設備等の適正な設置促進により火災被害の軽減に資するため、消防法令に重大な違反のある防火対象物について、その違反の内容等を公表することに関し必要な改正を行う。））

問 市内に公表対象となる施設はあるのか。

答 現在のところ対象となる施設が7施設あり、この1年間で指導強化をして、整備をしていただくことになる。

消防庁配布の違反対象物に係る公表制度のリーフレット

文教産業委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第38号　鳥羽市民の環境と自然を守る条例の一部改正について（本条例に基づく開発行為の届出において、国若しくは地方公共団体が行うもの又は他の法令等（都市計画法、県宅地開発基準条例、市風致条例、市再エネ条例）に基づき許可、届出又は調整等がなされたものに関し、省略できる旨の規定を設ける。））

問 今まで二重チェックのようになっている部分もあったと思うが省略することによって問題はないのか。

答 実際、届け出関連は関係課に決裁がまわる。実質は変わらないと考えている。

（議案第40号　鳥羽市都市公園条例及び鳥羽市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について（鳥羽市民体育館を快適な都市施設として再整備するにあたり、都市公園における運動施設に加えるとともに、その管理について整理する。））

問 設置という部分を削った理由は何か。

答 体育館の整備等は教育委員会生涯学習課が行ってきたが、プールや野球場は都市施設として建設課で整備してきた。設置と管理運営を整理するため条例を提案した。

予算決算委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

以下、審査の過程において、各担当課の新年度予算の事業執行に関しての指摘、意見、要望について述べます。

企画財政課

● 当初予算では、積立金としてふるさと納税にかかるふるさと創生基金を3億円と見込んでおり、執行部のやる気を評価するとともに、議会として可能な応援を惜しまないこととした。鳥羽市にとって自主財源をいかに増やすかは喫緊の課題であり、議会としても執行部任せにせず、知恵も力も出していくこととして全委員が合意した。

● 離島振興事業のうち、海と人をつなぐ漁村文化継承交流促進事業について、委員間討議で議論され、事業の対象が離島だけとするものであるが、市全体として取り組む大事さを有していることから、是非とも成功させ、その事例を各地へ波及させられるよう期待するとの意見があった。

健康福祉課

● 地域共生社会推進事業については平成30年度当初から事業着手した事業で、昨年の委員会では「地域が望んでいる事業であり、担当課が勇気をもって踏み出した」と評価した上で、「議会として急かせず、共に汗をかいていく」と宣言した経緯がある。新年度で計上した予算は「課題解決のための仕組みづくり予算」としており、議会としては引き続きその執行を応援するものである。

観光課

● インバウンド対策事業のうち、海女文化海外情報発信事業ではフランスでの事業展開への積極性と一般社団法人自治体国際化協会助成金400万円の獲得を評価する。これを第一歩として成功させ、来年度以降も新たなインバウンド市場の開拓に努められたい。

消防本部

● 平成29年度決算審査後に委員会から提言として、市長に消防職員の増員を要望した。しかしながら、職員の体制は現状維持にとどまっている。職員適正配置計画や財政的に厳しいことは承知しているが、適正な職員数の確保は市民の安心・安全に不可欠であることから計画的な増員を求めたい。

● 離島を含む各地の消防団格納庫の改修が強く求められているが、国や県に助成を強く働きかけ、消防団員の願いにこたえられるよう努力を求めるものである。

教育委員会学校教育課

● 寝屋子の島留学事業については関係者の努力が実り、新たに児童2名を迎えることは大変喜ばしいことである。事業を充実・発展させていただきたい。

生涯学習課

● 人材育成講座「地球塾」事業における「とばっこ検定」については子どもたちだけでなく保護者の反響も大きく、議会としては拡大することを応援したい。検定内容についても知りたい、挑戦したい市民もあることから市民全体が受検できる環境も視野に入れ、続けていただきたい。

人事

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることに同意

濱田（はまだ）博文（ひろふみ）　氏

平成31年２月27日～３月29日会議　議員別表決結果

○：賛成　×：反対
－：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	奥村　敦	片岡直博	河村　孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上　健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	尾﨑　幹	坂倉紀男
24	平成31年度鳥羽市一般会計予算	３月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし	○	○	○	○
25	平成31年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
26	平成31年度鳥羽市介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
27	平成31年度鳥羽市定期航路事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
28	平成31年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
29	平成31年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
30	平成31年度鳥羽市水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
31	鳥羽市民文化会館の設置並びに管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
32	鳥羽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
33	鳥羽市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
34	鳥羽市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
35	鳥羽市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
36	鳥羽市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
37	鳥羽市清掃施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
38	鳥羽市民の環境と自然を守る条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
39	鳥羽市農業委員会の委員等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
40	鳥羽市都市公園条例及び鳥羽市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
41	鳥羽市火災予防条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
42	鳥羽市定期航路運航条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
43	鳥羽市過疎地域自立促進計画の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
44	鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
45	定住自立圏形成協定の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
46	指定管理者の指定について（鳥羽市民体育館他５施設）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
47	指定管理者の指定について（答志コミュニティアリーナ）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
48	平成30年度鳥羽市一般会計補正予算（第６号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
49	平成30年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
50	平成30年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
51	平成30年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算（第２号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
52	鳥羽市道路線の認定及び変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
53	平成30年度鳥羽市一般会計補正予算（第７号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
54	鳥羽市地方創生拠点整備交付金基金条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

平成31年２月27日～３月29日会議　議員別表決結果

○：賛成　×：反対
－：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	奥村　敦	片岡直博	河村　孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上　健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	尾﨑　幹	坂倉紀男
55	平成31年度鳥羽市一般会計補正予算（第１号）	３月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし	○	○		○
56	鳥羽市市税条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
57	鳥羽市都市計画税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
58	鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
諮問３	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
請願８	「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める請願	３月27日	採択	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
発議10	「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

これが問いたい●ここが聞きたい

一般質問

３月５日～６日に７人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
３月５日（火）	戸上　健	離島政策について 子どもの貧困計画について 漁業法改定による市漁業への影響について
	河村　孝	インバウンドの更なる誘客対策について ガバメントクラウドファンディング（GCF）の有効活用について 海の博物館での体験メニューを活用した更なる誘客策について
	山本哲也	市長公約の進捗について
	坂倉広子	ひきこもり（社会的孤立）支援について ハートフルパーキング事業の導入について
３月６日（水）	木下順一	大規模災害への対策及び事前復興計画について 働き方改革推進におけるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）導入による業務の効率化について
	井村行夫	答志島島民の悲願である答志島架橋の促進について 市内にあふれる空き家の対策の推進について 鳥羽市の美化推進について
	尾﨑　幹	市長が持つ鳥羽市のビジョンについて

離島に救急艇の導入を

戸上　健

市長
研究が必要だと考えています

問 広島県三原市の救急艇の装備、体制を聞きます。

答 消防長　救急艇は、患者用ベッドは固定式と補助ベッドの2台が装備されています。人工呼吸器や酸素吸入器、AED等の医療機器の一部を救急車から載せ替えて活用することにより、救急救命士による応急処置が行えます。救急艇には、救助隊員の1名と救急隊員3名の合計4名が乗船します。

問 鳥羽市の1月末の離島の人口は三原市の5倍です。救急艇と救急搬送車は必要ではありませんか。

答 市長　三原市の手厚い行政対応には、私も大変感銘を受けています。救急艇と救急搬送車については、鳥羽市の財政規模を考えるとかなりハードルが高いように思いますが、建造等にかかる費用に対する国や県の補助メニューの調査や建造、運用開始後に生じる経費の比較検討、運営に関する人材や体制などの諸課題に対する研究が必要だと考えています。現在の離島における夜間の無医師の状況の中で、離島住民の不安は、はかり知れないものがあると思っています。救命艇にこだわらず、補助金制度や消防団の地元連携の強化等、さまざまな方法を地元住民と関係各課が協議し、離島の皆さんの不安が少しでも和らぐよう検討していきたいと思っています。

三原市で導入されている救急艇

インバウンドのさらなる誘客対策は

河村　孝

市長
いろいろと取り組んでいきたい

問 インバウンドのさらなる誘客対策について所見を聞きます。

答 市長　まだまだ政策的に取り組むべき要素、そして市民も気づいていないようなコンテンツはたくさんあると思っています。外国人観光客に限らず、日本人観光客にも喜んでもらえるような魅力ある観光資源の発掘と食品づくり、情報発信など、いろいろと取り組んでいきたいと考えています。

海の博物館での体験や案内は

生涯学習課長
充実に向けて進めていきたい

問 海の博物館におけるインバウンド向けとして、体験や案内を充実させていく考えはありますか。

答 生涯学習課長　三重大学の伊勢志摩サテライト、海女研究センターと連携して、三重大学の学生とともに海女展示をわかりやすく紹介するためのガイド用のシナリオづくりに取り組んでいます。最終的には本物の海女も登場するような形で海女文化を紹介できる形につなげていきたいと考えています。来館者数の増加につながる取り組みとして、充実に向けて進めていきたいと考えています。

答 市長　全職員で事業を進めていくことも、鳥羽が市立化するときのメリットとして説明したように思います。それによって海の博物館が良い方向に変わると思いますので、職員全体で事業を進めるイメージで取り組んでいきたいと思っています。

海の博物館で開催されたお絵かき水族館

手応えをつかんだものは

山本哲也

市長
成果が出るように取り組んでいきたい

問 市政のテーマとして掲げられた6つの柱となる政策の中で手応えをつかんだものはありますか。

答 観光課長　観光業を中心とした雇用対策においては就職まで結びついており、じっくりと仕事内容を検討できる場づくりとして、非常に有効な手段であったと感じています。宿泊事業者についても若者の雇用確保のために勤務体系を検討するところまで努力をしていただいています。

答 農水商工課長　「答志島トロさわら」のブランド化についてはブランドサワラの価格が平均でキロ当たり189・5円、高くなっている結果が出ました。ブランド化による知名度アップの効果でサワラ全体の価値が向上したことが推測できます。

答 市長　さらなる強化が必要と感じる事業は獣害対策があります。また、空き家、空き地の再生や伊勢湾から漂着するごみの問題もあります。掲げた公約が達成できるようにてこ入れを行い、成果が出るように取り組んでいきたいと考えています。

問 残り2年をどのように取り組んでいきますか。

答 市長　市民の皆さんと事業所、関係団体の皆さんと行政がみんなで連携して、鳥羽市を少しでも暮らしやすい、市民の意見や考えが行き届くまちにしたいと考えています。

昨年ブランド化された「答志島トロさわら」

8050問題の所見は

坂倉広子

市長
地域共生社会の実現に向け進めています

問 ※8050問題について所見をききます。

答 市長　地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めています。地域の皆さんがそれぞれに役割を持ち、支えあいながら自分らしく活躍できる地域コミュニティーを育成し、福祉などの地域の公的サービスと共同し、助け合いながら暮らすことのできる仕組みの構築を目指します。

※8050問題…80代の親が50代の子どもを養っている状態により親が亡くなった場合、子どもが孤立してしまう問題

問 15歳以上のひきこもりの実態はどのように把握していますか。

答 健康福祉課長　健康福祉課で健康・高齢・介護・障がい・子育て・生活保護の各分野の相談業務を行っており、各相談窓口において、ひきこもりの相談に対応しています。社会福祉協議会に委託し運営している生活困窮の相談窓口「暮らし相談支援センターとば」や、障がい者総合相談窓口「相談支援事業所キララ」においてもそれぞれの分野のひきこもりの相談に対応しています。

問 どのような支援体制をとっていきますか。

答 健康福祉課長　より迅速に対応できるよう把握シートを作成し、データベース化しています。複合的な課題を抱える世帯や制度のはざまで困窮する世帯の支援を検討するため、地域共生ケース会議を設置し、体制を整えています。

健康福祉課内でのひきこもり対応の検討会議

事前復興計画は

木下順一

市長
どのような事前準備が必要か考え始めたい

問 大地震の被害想定を考えると、被災後のまちづくりに向けた準備をしておく必要があります。全ては震災前に、これが東日本大震災の教訓です。早期復興のため事前復興計画を策定していく必要があると思いますが、どのように考えていますか。

答 市長　南海トラフ巨大地震は、いつ発生してもおかしくない状況と認識しており、震災後の早急な復興をなすためには、さまざまな事前検討が必要だと思っています。東日本大震災における、被災自治体の復興対応を参考に、どのような事前準備が必要なのかを考え始めたいと思っています。

RPA導入の可能性は

市長
研究をさせたい

問 近年、業務の効率化という点で※RPAが注目されていますが、導入の可能性を聞きます。

答 企画財政課副参事　実証実験により一定の効果が出ており、業務効率の向上が見込まれることから、RPAに適した業務を調査し、費用対効果などを含め、今後検討していきたいと考えています。

答 市長　業務の効率化を図るためには、必要不可欠ではないかと認識をしています。職員数が減り、人口が減っていく中ではありますが、同レベルの行政サービスは維持していく必要があると考えていますので、RPAの導入について研究をさせたいと思います。

※RPA…ロボティック・プロセス・オートメーションの略称で定型業務など、単純なパソコン作業を自動化する仕組み

南三陸町の復興状況（2015年11月当時）

答志島架橋実現に向けての支援は

井村行夫

市長
県や国に働きかけていきたい

問 答志島架橋について市長として今後の支援をどのように考えていますか。

答 市長　答志島架橋建設促進協議会は、10年以上の活動を継続しています。平成30年7月の総会や平成31年2月の離島架橋勉強会にも出席し、新たな思いも肌で感じ、協議会の活動を支援していきたいと思っています。

問 離島架橋の今後を聞きます。

答 市長　知事との1対1対談の中でも、島民における福祉・教育・防災・医療・流通・観光・全ての分野にわたって、橋をかければ全部解決すると訴えました。自民党の離島振興特別委員会でも、137の離島振興の市町村を代表して、そういった課題を訴えました。これからも地元の皆さんと、機会を捉えて、県や国へ働きかけていきたいと思っています。

問 空き家処理が進まないのは、相続問題、経済的なことが主な原因だということですが、今後の政策を聞きます。

答 建設課長　国も長期間相続登記が未了となっている土地の問題解消に取り組む予定です。東海市長会を通じて、早急に取り組まれるよう要望をすることにしていることから、国の取り組みも踏まえた上で、粘り強く取り組んでいきたいと思います。

答志島架橋看板絵

デザインを形に残しますか

尾﨑　幹

市長

今は考えていません

問 新時代に対応できるグランドデザインはありますか。

答 市長　あります。

問 魅力的になっていますか。

答 市長　なっていると思います。

問 デザインを形に、絵に残しますか。

答 市長　特に、今は考えていませんが、必要とあれば残したいと思います。

問 これから職員の仕事量はふえると思いますか。

答 市長　ふえるというより複雑化するのではないかと思います。

問 福祉サービスの充実について地域包括ケアはどのように確立しますか。

答 市長　役所の中の連携と、地域と、近隣市町との連携ではないかと思います。

問 漁業が活性化するような政策はありますか。

答 市長　水産が水産だけでなく、持っているもの以上にＰＲがうまくいくのは漁業と観光の連携であると思っています。

問 インバウンドは世界から見てもミシュランの星だと考えます。鳥羽市が売れるような事業に変えてください。

答 市長　ミシュランが発行している観光地や観光施設を掲載しているグリーンガイドには既に鳥羽市は星がついていますが、一つ星、三つ星にのばしていくように頑張っていきたいと思います。

最後の質問に答える中村市長

▶これまで行ってきた議会改革

市議会では、更なる議会改革を推進するため、平成 27 年６月に議会改革推進特別委員会を設置し、28 項目の調査事項を検討してきました。

- 議会報告会のあり方について、新たに広報広聴委員会を設置し、議論した。現在、課題の共有を主な目的とし、新たに TOBA ミライトークと改め、進めている。
- 政務活動費の領収書及び視察報告書について、透明性を高めるため、平成 27 年度交付分からホームページで公開した。
- 議員が政治倫理基準に違反する疑いがあると認められるときは、執行部職員も審査請求ができるよう鳥羽市議会議員政治倫理条例の改正を行った。
- 議員定数について、平成 31 年４月の改選は定数 14 人を維持することで合意した。
- 議会選出監査委員の取り扱いについて条例で廃止することができるようになったことから議論を行ったが、現行のとおりとすることが決定された。
- 常任委員会及び議会運営委員会の行政視察後、各委員会で取りまとめた報告書についてホームページで公開した。

委員会って何？ Vol.4

鳥羽市議会の委員会についてお伝えしてきたこのシリーズですが、今回で最終回となりました。
議会運営委員会・議会改革推進特別委員会・広報広聴委員会についてお伝えします。

議会運営委員会

議長の諮問機関であるこの委員会は、次の事項に関する調査を行い、議案、請願等を審査します。

◯議会の運営に関する事項
◯議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
◯議会の諮問に関する事項

議会運営委員会は本会議前に必ず開催し、会議日程や議案取り扱い等について決定しています。鳥羽市議会の議会運営委員会は「総務民生常任委員会」「文教産業常任委員会」「予算決算常任委員会」「広報広聴委員会」「議会改革推進特別委員会」の各委員長と議会運営委員長の６人で構成され、正副議長はオブザーバーとして出席します。

議会改革推進特別委員会

特別委員会は、特定の事項を調査するため議会の議決で設置することができます。鳥羽市議会では議会改革を更に推進することを調査目的として設置されました。所属委員は議長を除く全議員としています。調査事項として検討してきた結果の一部を 10 ページに掲載しておりますのでご覧ください。

広報広聴委員会

平成 28 年５月に新たに協議等の場として設置されたのが、広報広聴委員会です。この「わたしの議会。」をはじめ、ケーブルテレビやインターネット広報のほか、TOBA ミライトーク等を協議しています。編集後記では委員からひと言お伝えしておりますのでこちらもぜひご覧ください。

きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画です。

プロフィール

フェンシング選手　山田（やまだ） 優（まさる） さん

自衛隊体育学校所属。本年3月24日にブエノスアイレスで開催された「ワールドカップアルゼンチン大会」で、日本史上初となるエペ種目での団体戦優勝等、日本代表としての活躍が期待されている。

2019年アジア選手権大会が6月13日～18日の間、千葉県ポートアリーナで開催されます。この大会は東京オリンピックに出場するための大事な大会となります。応援宜しくお願い致します。

―２０２１年三重とこわか国体では、鳥羽市が開催地となるフェンシング競技ですが、山田さんが競技を始めたきっかけを教えてください。

私が小学校２年生のとき、近所に住む先輩がフェンシングクラブに入りました。その先輩のフェンシング姿が格好良いと感じ、自分もやりたい・先輩に勝ちたいという強い思いから始めました。

―世界で活躍されていますが、故郷、鳥羽の魅力はどこだと感じますか。

鳥羽市の魅力は海と食だと思います。現在、自衛隊体育学校で競技者として活動しているため、鳥羽市を離れていますが、鳥羽市に帰った時は、地元の海を見て美味しいものを食べ、鳥羽市の海と食に癒され元気を貰っています。

―最後に、鳥羽市民にメッセージをお願いします。

日頃から鳥羽市民の皆様には、暖かいご声援をいただき有難うございます。２０２０東京オリンピック、２０２１三重とこわか国体に出場し、鳥羽市代表として市民の皆様に夢・希望・勇気・元気をお伝えできるよう精一杯頑張ります。

編集後記

わたしの議会。（とば市議会だより）第167号をお届けします。
現在の委員構成でお届けする最後のたよりとなりました。「少しでも多くの方に手にとって読んでいただきたい。」委員７名がそのような思いで新たな企画を組むなど、努力してきました。皆様にはご協力をいただき心より感謝申し上げます。これからもなお一層の努力をして参りますので皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

記　山本哲也

編集／広報広聴委員会　発行／鳥羽市議会

広報広聴委員会
委員長　山本哲也
副委員長　井村行夫
委員　奥村　敦
委員　河村　孝
委員　木下順一
委員　浜口一利
委員　世古安秀

〒517-0011 鳥羽市鳥羽３丁目1-1
☎0599-25-1206 FAX0599-25-1215 ✉gikai@city.toba.lg.jp
鳥羽市議会 検索

Noto Fonts (c) Google Inc.Licensed under Open Font License